



伊勢市
×
スタートアップ
課題
説明会

9月2日(火)
15:00 スタート

開始まで
しばらくおまちください

Ise Startup Challenge



はじめに

本日は、Ise Startup Challenge課題説明会へのご参加誠にありがとうございます。

- Zoomの表示名を「**企業名_お名前**」に変更していただくと幸いです。
- 顔出し可能な方はぜひ、**カメラON**をお願いいたします。



本日の流れ

時間	内容
15:00-15:05	開会の挨拶(伊勢市 商工労政課)
15:05-15:10	Ise Startup Challenge事業概要・流れ
15:10-15:15	各担当課より自己紹介
15:15-15:50	<ブレイクアウトセッション> 各担当課より課題説明、質疑応答
15:50-16:00	全体Q&A、よくあるQ&Aの紹介
16:05	終了
16:05-16:15	個別質問・ブレイクアウトセッションの延長

本日の趣旨

- 本質的に解決すべき課題の理解を深めていただく
- 様々な課題解決のアプローチがあるという共通認識を持っていただく
- 担当部署とお話いただく唯一の機会ですので、ぜひ有効にご活用いただけたら幸いです。

商工労政課 副参事

南 裕之

事業概要・流れ

Ise Startup Challengeとは？

市職員とスタートアップが協働して
行政課題や社会課題の解決に取り組むことで、
市の課題解決とスタートアップの成長、
域内のオープンイノベーション機運向上を目指す取り組み



2025年度の募集テーマ



実証支援金 最大 50万円

観光地・伊勢の玄関口を守りたい。カラスとの共存を探り、ファン害に終止符を。

伊勢市 環境課



実証支援金 最大 50万円

先進技術で越える！視覚障がい者観光の「ラストワンメートルの壁」

伊勢市 観光振興課



実証支援金 最大 50万円

『働きたいけど、働けない』をなくす挑戦。短時間雇用モデルを共に創りませんか？

伊勢市 福祉総合支援センター

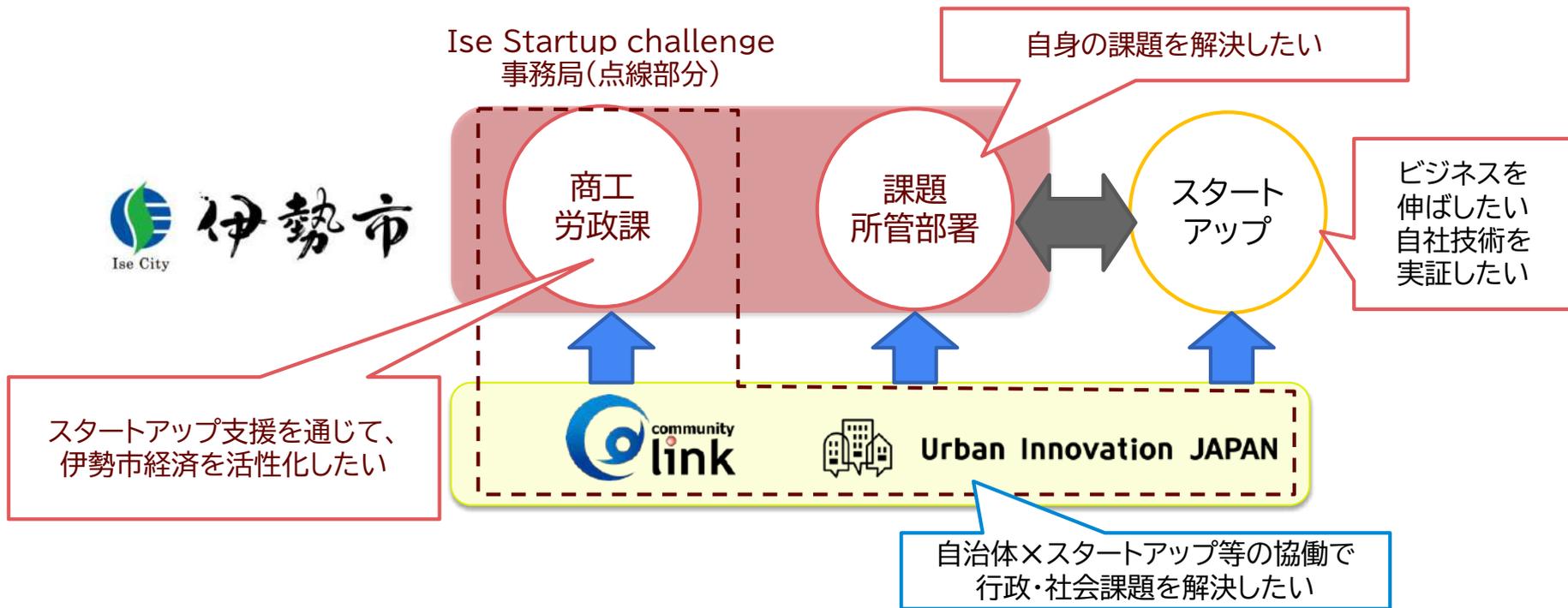


実証支援金 最大 50万円

「特別な年」だけでなく「いつでも」伊勢へ。新たな観光誘致への挑戦

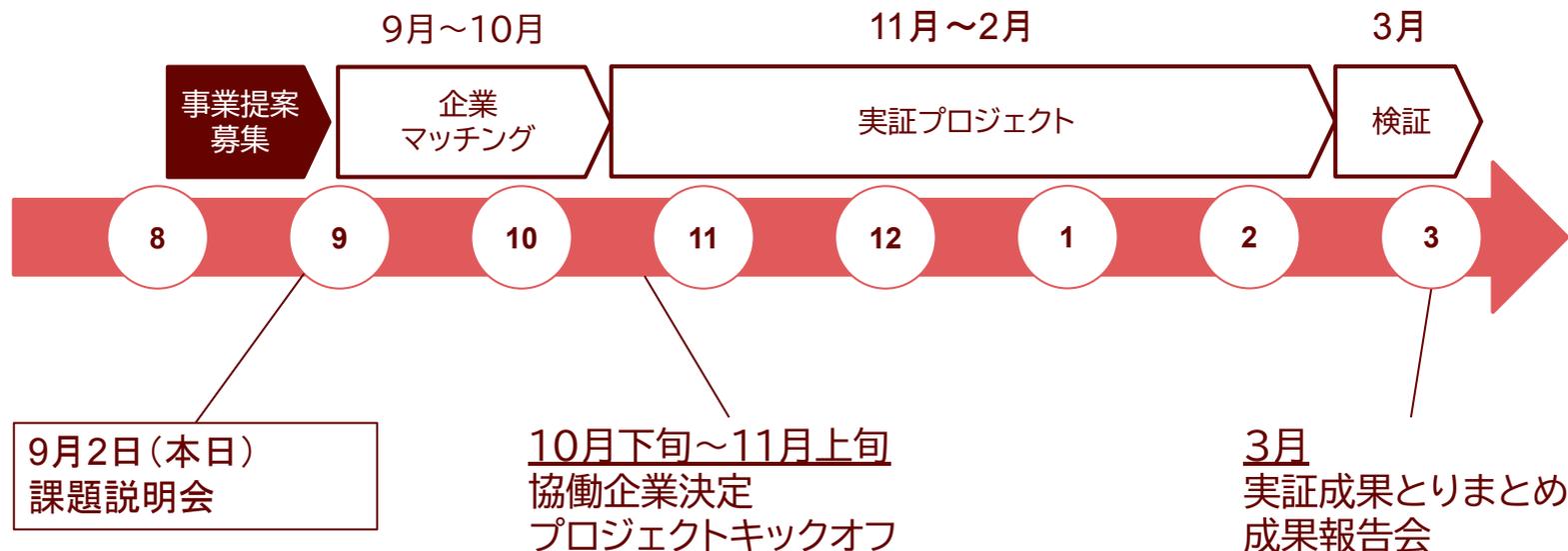
伊勢市 観光誘客課

プロジェクト実施体制



事業スケジュール

提案募集締切
9月14日(日)23:59



PR効果

製品・サービスのテスト

本格導入・他自治体への展開

スタートアップへの期待・お願いしたいこと

1

課題解決のアイデア・技術

企業等の技術やノウハウを基にした課題解決アイデアのご提案。

2

実証実験の企画・運営

担当課職員と協働で実証実験を進める。特に技術的なサポートを期待。
※事務局も企画・運営をサポート

3

成果報告サポート

実証実験成果のデータ集計や考察などの取りまとめをサポートいただく。

伊勢市からの3つのサポート



実証補助 最大50万円/課題

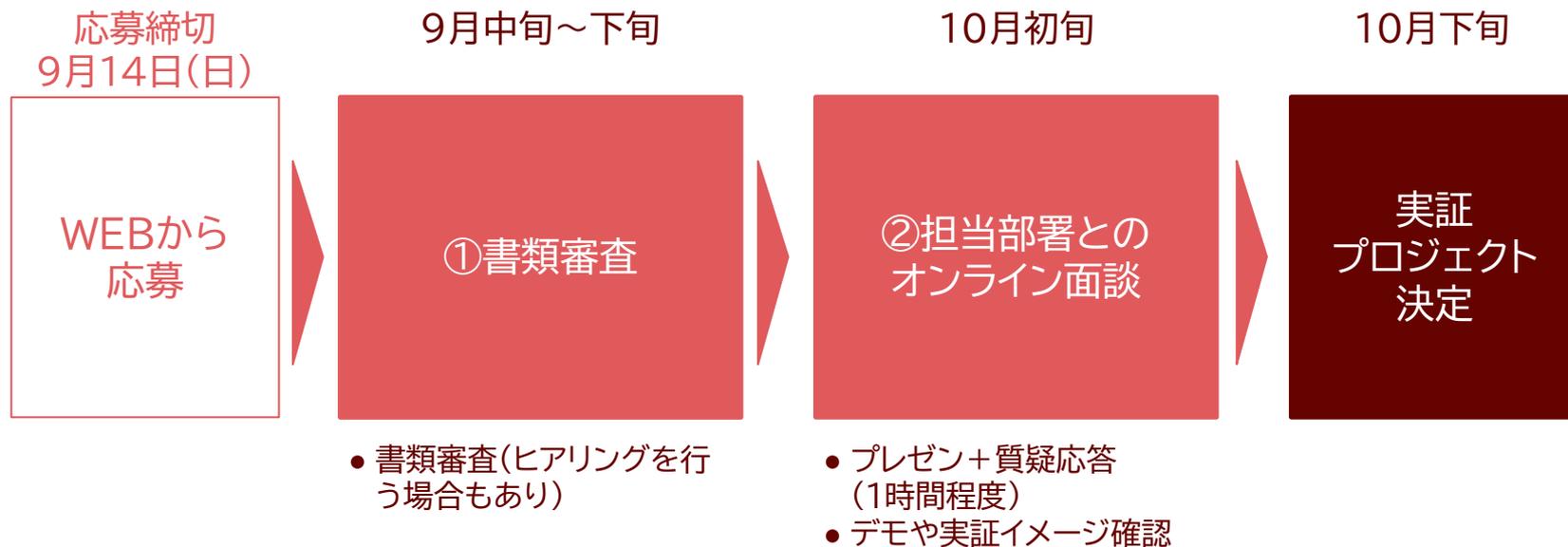


実証フィールドの提供



**事務局による
プロジェクトサポート**

選考プロセス



オンライン面談日程(予定)

担当課とのオンライン面談は以下日程での実施を予定しております。

後日メールにて、担当課毎の具体的な候補日をご連絡させていただきます。

なお、面談企業数によって、別日程でご相談する可能性もございますが、ご了承ください。

オンライン面談候補日

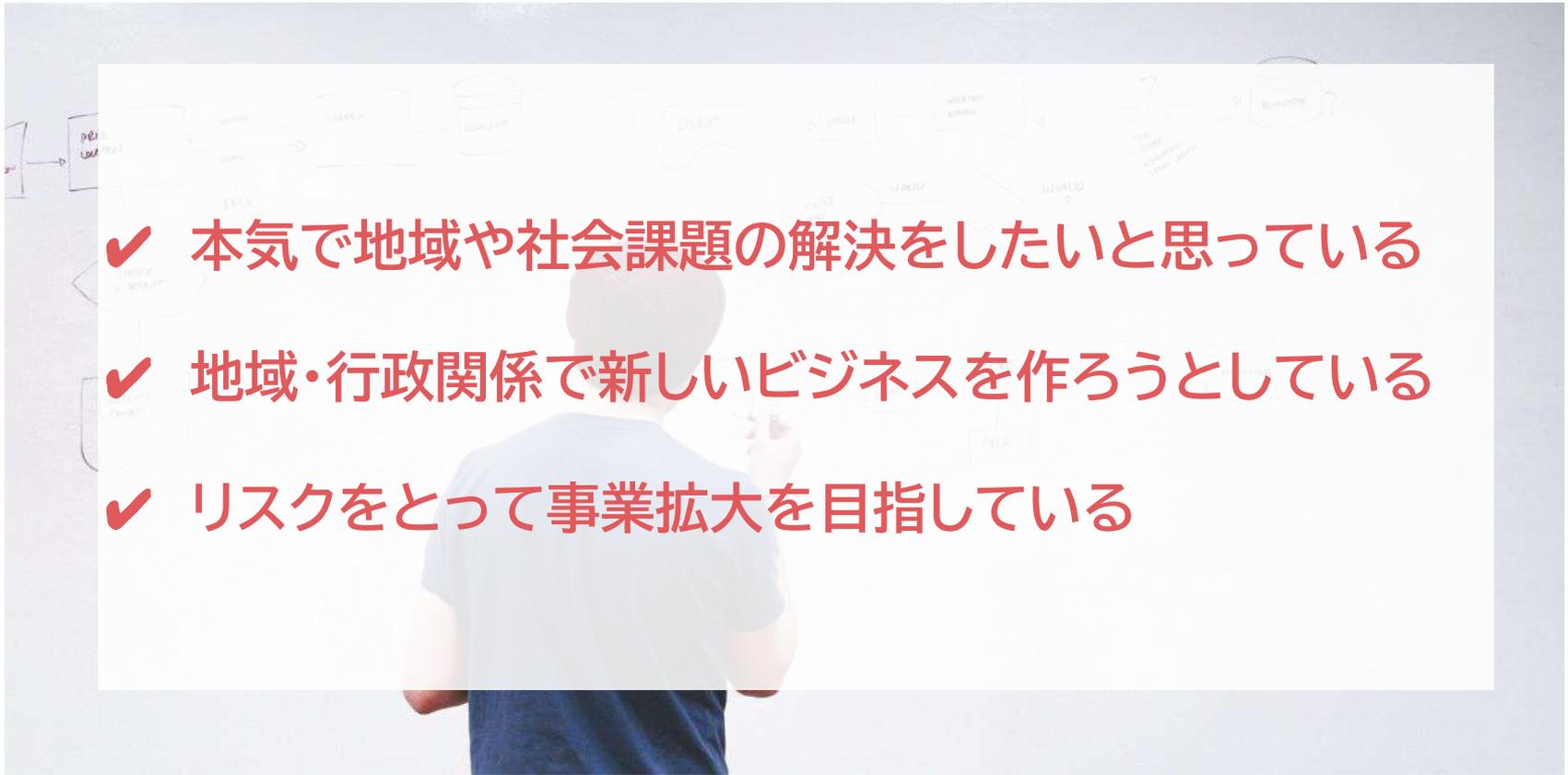
10月6日(月)～10日(金)

審査基準

伊勢市をフィールドに新たな挑戦していただける企業、職員と協働しながら、課題解決に継続的に取り組んでいただける企業のご応募をお待ちしております。

審査項目	配点	内容
新規性・創造性	20点	<ul style="list-style-type: none">•提案する内容に先進性や面白みがあるか。•他社のサービスと差別化できる要素を持っているか。•既存商材をそのまま使うのではなく、実証要素を有しているか。
課題理解度・改善効果	15点	<ul style="list-style-type: none">•テーマを適切に理解し、実現可能な解決手法になっているか。•提案された解決手法により高い改善効果が認められるか。
協働力・協調性	20点	<ul style="list-style-type: none">•自治体もしくは他社との協働経験や実績があるか。または協働・地域参画促進への高いモチベーションを有しているか。•職員と協働しながらより良いサービス開発を進める熱意があるか。
継続性・収益性	20点	<ul style="list-style-type: none">•事業継続できる収益基盤があるか。•実証だけに終わらず、継続的に実装に繋がる可能性のある取組になっているか。
チーム構成・能力	10点	<ul style="list-style-type: none">•実証実験を適切に実施できるリソースがあるか。•実証実験の推進上、必要な専門性と高い技術力を有しているか。
地域との連携	15点	<ul style="list-style-type: none">•伊勢市内に本店若しくは主たる事業所があるか。•伊勢市内に本店若しくは主たる事業所がない場合は、市内事業者の実証事業への参画・連携等の可能性があるか。また、将来的に伊勢市域への貢献、立地など継続的に伊勢市に関わる可能性があるか。
合計	100点	

こんな企業のご応募をお待ちしております！

- 
- ✓ 本気で地域や社会課題の解決をしたいと思っている
 - ✓ 地域・行政関係で新しいビジネスを作ろうとしている
 - ✓ リスクをとって事業拡大を目指している

担当課紹介

各課紹介

①環境課

観光地・伊勢の玄関口を守りたい。カラスとの共存を探り、フン害に終止符を



②福祉総合支援センター

『働きたいけど、働けない』をなくす挑戦。短時間雇用モデルを共に創りませんか？



③観光振興課

先進技術で越える！視覚障がい者観光の「ラストワンメートルの壁」



④観光誘客課

「特別な年」だけでなく「いつでも」伊勢へ。新たな観光誘致への挑戦



<ブレイクアウトセッション>

担当課との

ディスカッション

課題説明 & 質疑応答・ディスカッション

ブレイクアウトルームは **35分間**実施します。

途中で別ルームへ移動していただいても OKです。

お願い

- 競合する企業同士かもしれませんが、会話しやすくするため、ぜひ **カメラON**でお願いします。
- できるだけ多くの方にご質問いただけるようにご配慮ください。
- ご提案の熱い想いはぜひ応募フォームへ！
- **課題解決に向けた前向きな議論**をお願いします。
- 他の参加者や担当課への迷惑行為が認められた場合には、事務局判断で退室いただく場合がございます。
- 時間内で終わらない場合は、全体終了後に延長戦を行います。(16:06-16:15)

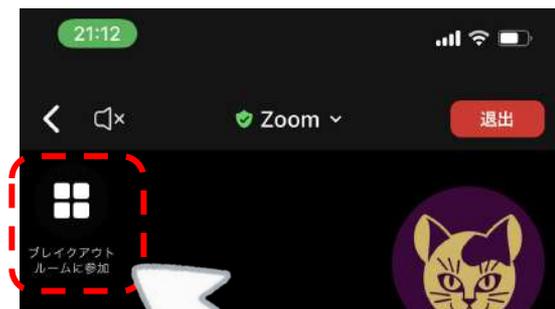
ブレイクアウトルームへの参加方法

入室方法

画面下部のブレイクアウトルームボタンを押し、部屋を選択して、入室してください。



スマホの方は、画面左上のボタンから入室してください。



ただいまブレイクアウトルームでのディスカッション時間となっています。

上記画面操作により、ご興味のあるテーマの部屋に移っていただけますと幸いです。

課題説明

環境課

観光地・伊勢の玄関口を守りたい。カラスとの共存を探り、フン害に終止符を。



解決したい課題

伊勢市の観光の玄関口、宇治山田駅周辺のカラスのフン害を解消し、心地よく伊勢を観光してほしい。



想定する実証実験

宇治山田駅にて、カラスを撃退したり、近寄らせない技術の有効性を検証します。



実現したい未来

伊勢市の玄関口を常にきれいな状態に保ち、観光都市としてのイメージ向上に繋がります。



テーマ

働きづらさを抱えた人が、短時間(週10時間未満)から「働くこと」にチャレンジできる環境を整備したい

主旨・目的

ひきこもりや障がいの疑いがある人への就労支援を続ける中で、長時間働くことが難しい人が一定数いることが判明。**短時間就労からチャレンジして、徐々にフルタイムでの就労を目指すことができる仕組みが必要**であると実感した。

市内企業に対して短時間雇用の導入を依頼する前に、市役所自らが短時間雇用の取組を実践するために、令和6年度から「ワークステーションいせ」(市役所における短時間雇用の取組)を開始した。

現在までに、17名を会計年度任用職員として採用し、その内の1名は、市役所での業務経験を経て、フルタイムに近い形で一般企業に就職することができ、ワークステーションいせを卒業した。

このように、市役所での取組を継続しながらも、**一般企業が短時間雇用を導入できる環境の整備**を進めていきたい。

「働きづらさを抱えた人」のイメージ

様々な理由により働きたくても働くことができない状態にある全ての人が、その個性や意欲に応じて能力を発揮し、社会を構成する一員として社会経済活動に参加することにより、全ての市民が生きがいを感じながら安心して暮らすことのできる地域共生社会の実現を目指すことが重要です。

<働きづらさを抱えた人のイメージ>

1. 働きづらさを抱えていることが客観的に明らかであり、何らかの既存の支援制度がある人(新たに支援制度を創出する必要がある場合を含む)
2. 働きづらさを抱えていると思われるが、性格や精神状態などに起因する働きづらさがあり、それが外部から分かりづらい人
3. 本人の意欲や能力に起因する働きづらさはないが、勤務時間の制約や、勤務に一定の配慮が必要など、希望する働き方と現在の労働条件が合わないため、働くことができていない人

「1」で想定される人物像

- 障がいがある人
- ひきこもり状態の人
- 触法歴・執行猶予中の人

「2」で想定される人物像

- 障がいの疑いがある人
- コミュニケーションが苦手な人
- 自分に自信が持てない人
- 就労をしたことがない人
- 就労のブランクがある人
- 就労しても長続きしない人

「3」で想定される人物像

- 病気等で配慮がいる人
- 時間の制約で長時間働けない人
- 子育て中で配慮がいる人
- 介護中で配慮がいる人
- 就職氷河期世代の人
- 外国の人

出典：ユニバーサル就労推進基本計画(2022 富士市)、一部加筆：伊勢市福祉総合支援センター

https://www.city.ise.mie.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/014/974/hatarakizurasa.pdf

問題

1. 企業側のメリットが見えにくい

雇用する時間が長ければ、障害者雇用促進法に定める雇用率の算定対象になる場合もあるが10時間未満の雇用は算定対象外。また、ハローワークの各種助成金の対象とならないことも、普及を妨げる一因となっている。

2. 「業務の切り出し」という発想がない

多くの企業では、単純な業務だけを切り出して、その部分を担う職員を配置するという発想がないことから、働きづらさを抱えた人に「どのような業務を任せたら良いのか」をイメージできない。「業務の切り出し」自体は難しいことではないが、ノウハウがないと上手く進まない。

3. マッチングの難易度が高い

働きづらさを抱えた人の特性を理解し、企業と丁寧にマッチングすることは、一般的なマッチングに比べて難易度が高く、一人ひとりに寄り添ったサポートや、就職後の定着支援なども必要となる。

解決したい課題

1. 業務の切り出し支援

企業の業務から「専門性を必要としない業務」を切り出すツールやサービスを構築したい。

2. 短時間雇用のマッチング

市内企業の求人(短時間雇用)と、働きづらさを抱えた人の特性を踏まえたマッチングシステムを構築したい。
(企業と働く人に対する定着支援を含む。)

最終的には、「企業」と「人」の開拓を同時に行い、「企業」には業務の切り出し支援、「人」には就労支援を実施した上で、短時間雇用をマッチングするシステムを構築したい。(中間支援組織になるパターン、中間支援組織にコンサルするパターン、BPOとして請負うパターンなど手法はいくつか考えられる。)



求める専門性

- ・障害者雇用や多様な背景・特性を持つ人への就労支援の経験、実績
- ・企業の業務分析、BPOなどの経験、実績
- ・定着支援(働き手・職場)の経験、実績

打合せ方法やデータ等の提供

オンラインでの定例会議を軸としつつ、
現場の企業や支援機関、当事者と顔の見える関係を築きながら進めていきたい。

- ・支援対象者のデモグラフィックな情報やニーズの傾向
- ・地域の支援機関の情報やネットワーク
- ・協力いただけそうな市内企業のリスト
- ・課題抽出のためのヒアリング調査への同行

観光振興課

先進技術で越える！視覚障がい者観光の「ラストワンメートルの壁」



解決したい課題

駅や観光施設に設置されているインターホンやサイネージなどの案内端末へ、視覚に障がいのある方がスムーズにアクセスし、利用できるようにしたい



想定する実証実験

市内の駅などで、視覚に障がいのある方にツールを試用していただき、施設内のインターホンやサイネージなどの案内端末までスムーズにアクセスし、利用できるかを検証



実現したい未来

視覚に障がいのある旅行者が行きたいところへ行けるような、バリアフリー観光地の実現



観光誘客課

「特別な年」だけでなく「いつでも」伊勢へ。新たな観光誘致への挑戦



解決したい課題

伊勢市では、神宮式年遷宮(※)の年に観光客が集中する傾向があり、それ以外の年において誘客を促進することで、観光客数を平準化したい。

※本記事では、大御神に新宮へお遷りいただく年のことを指す。次は2033年。



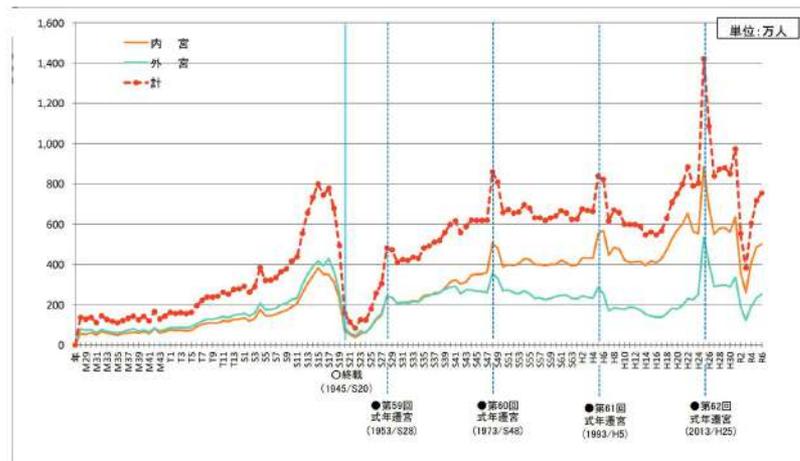
実現したい未来

神宮式年遷宮による賑わいを一過性のものとせず、最終的には式年遷宮の年に近い観光客数を他の年でも達成することを目指し、持続的な賑わいを創出したい。



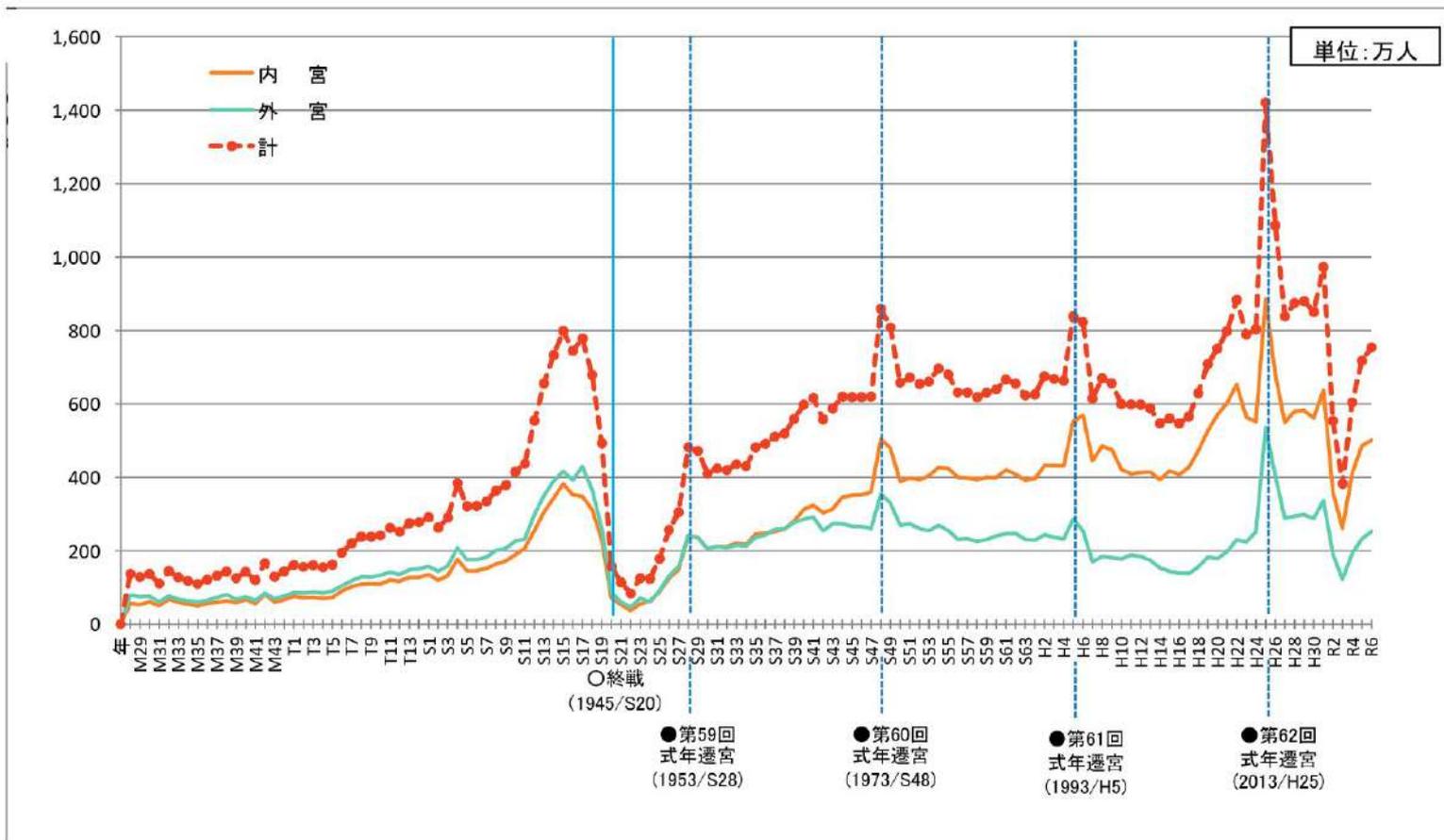
想定する実証実験

国内観光客の誘客につながるようなアイデアやサービスを幅広く募集し、ご提案の内容に応じて、関係者と協議の上、決定します。



観光誘客課

神宮参拝者数の変遷(令和6年伊勢市観光統計)



全体Q&A

よくある質問

Q.実証支援金を超える費用がかかった場合は請求できますか？

A.今年度の実証にかかる費用でお支払いできるのは、課題1件あたり 50万円(消費税などを含む)上限となっています。超過する部分については、ご負担をお願いいたします。

Q.提案前にもう一度担当部署と話したいのですが。

A.提案前に個別に担当部署と面談することはできません。審査の中で担当課との面談の機会がございますので、その際に詳細なすり合わせが可能ですので、まずはご提案いただけますと幸いです。また、最終審査前に提案書の更新も可能です。

最後に



伊勢市 (三重県)

Ise Startup Challenge

歴史と文化のまち伊勢市は、人口減少、特に生産年齢人口の減少という課題に直面しています。このまちの活力を未来へ繋ぐため、スタートアップが持つイノベティブな技術やアイデアで地域課題の解決に挑む「Ise Startup Challenge」を始動しました。本事業を通じて、市役所はもちろん、地域の事業者や団体とも連携し、オープンイノベーションの輪を広げたいと考えています。伊勢市を実証フィールドとして、社会課題解決と新たなビジネス創出に挑戦しませんか。熱意ある皆様のご参加を心よりお待ちしております。

説明会に参加する



Ise Startup Challenge

募集中



伊勢市
09.14
まで



ご応募時のポイント

- 業務委託ではありませんので、自由なご提案が可能です。
- 担当課が望んだ通りのご提案だけでなく、各社の技術・アイデアを活用した課題解決策のご提案を幅広く募集しています。
- 製品・サービスのイメージの伝わる画像や資料があると嬉しいです。
- 提案企業にとって、実証したいことや事業参加のメリットもお伺いしたいです。
- チーム情報には、できるだけ具体的なメンバーとお持ちの専門性をご記載いただけると助かります。

お願い

アンケート

回答時間は2～3分程度です。
本日のご感想など、ぜひお聞かせください。



<https://form.run/@ISC2025-info-questionnaire>

お問い合わせ

ご質問は以下の事務局メールアドレスまでご連絡ください。

※担当課への直接のお問合せはご遠慮ください。

連絡先

Ise Startup Challenge事務局
(Urban Innovation JAPAN事務局)

urban_innovation_japan@communitylink.jp

皆さまのご応募
お待ちしております！

